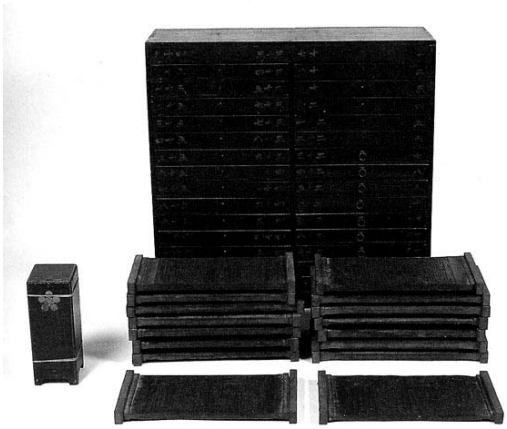
貞昌院サイエンスカフェ　「天神おみくじの木版摺り技術と実践」

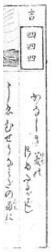


194
日本三体永谷天満宮御籤版木
江戸後期
神奈川／貞昌院蔵

永谷天満宮の別当であった横浜市の貞昌院に伝わるもの。歌占系でもっとも普及した天満宮六十四首歌占と呼ばれるもので、観音籤の一〇〇通りに対し、六四通りである。

195
日本三体永谷天満宮御籤
神奈川／貞昌院蔵

右上の漢数字は一から四までの組み合わせで六四種を表すもので、一は「一一一」、六四は「四四四」となる。これはもと、一から四までの籤を三度引いて占った名残りで、さらに古くはサイコロを投げ、天、地、人、空白の組み合わせで該当する歌を選んだりした。



日時 2008 年 9 月 16 日（火）
午後 1 時～4 時

場所 貞昌院
（港南区上永谷 5-1-3　　上永谷駅徒歩 5 分）

テーマ
「天神おみくじの木版摺り技術と実践」

講師　柿木隆先生（木版画家）

※資料・お茶代として 500 円集めます

江戸時代に作成された「天神おみくじ」の木版版木から、和紙に摺り出しを行います。
前回（8 月 9 日）の内容はおみくじの歴史を辿り、天神おみくじの由来を探り、数枚の摺り出しを行いましたが、今回は「木版を摺る」という技術に焦点をあてて考察、実践します。

文化財のために、普段なかなか気軽に目にすることができない貞昌院の天神おみくじの版木を間近に見ることができる機会です。
どうぞお気軽にお越し下さい。

【お申し込み・お問合せ】
E-mail kameno@teishoin.net
Fax 045-843-8864
貞昌院・亀野